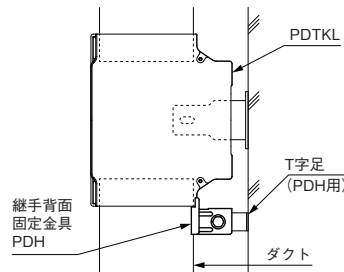


6 継手背面固定金具PDH（または継手固定金具PDL）の取り付け

ダクトとPDTKのすき間に継手背面固定金具PDHを差し込み、ボルトとナット、ワッシャーでT字足に固定します。



7 コーキング処理

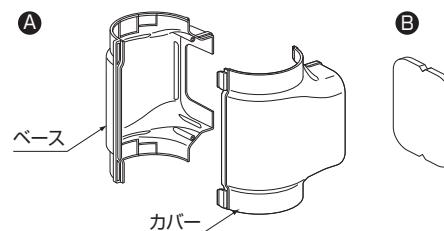
壁貫通箇所の近傍では、屋内への雨水侵入防止のため、コーキング処理などの防水処理を施してください。

その他の箇所については、必要に応じて防水処理を施してください。

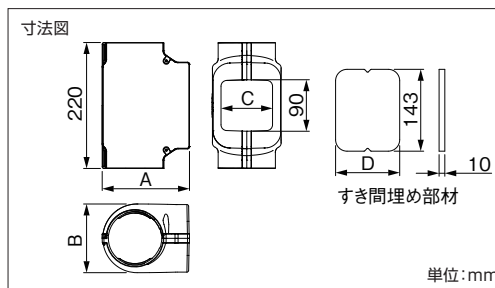
PDTKL

TKL収納カバー 施工手順書

■セット明細 (各部名称)



	部品名	材質	数量
A	TKL収納カバー PDTKL	PVC	1セット
B	すき間埋め部材	発泡PE	1
-	ビス(M3.5×20)	ステンレス	2



型番	A	B	C	D
PDTKL-90	152	120	90	112
PDTKL-120	180	140	110	131

(注意)

- ・PDTKLは、継手背面固定金具PDH(別売)を用いて固定してください。(施工手順6)
- ※後付け固定をする場合は、継手固定金具PDL(別売)を使用してください。
- ・製品を持ち運ぶ際は、落下させないように注意してください。落下した場合にツメが破損するおそれがあります。

■施工手順

1 施工前の確認事項 (収納可能な配管サイズと施工の種類)

施工には「①並列施工」と「②縦施工」の2種類の方法があります。(図1)

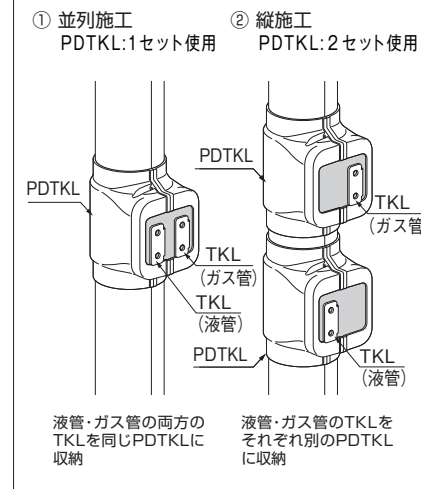
収納する配管サイズにより施工方法が異なるため、表1を確認のうえ施工準備を行ってください。

表1 収納可能配管と施工可否

単位:mm

型番	保温材厚 (最大配管サイズ)	施工可否	
		①並列施工	②縦施工
PDTKL-90	10×10 (15.88×28.58)	○	○
	10×20 (9.52×19.05)	×	○
PDTKL-120	10×10 (19.05×38.10)	○	○
	10×20 (19.05×31.75)	○	○
	20×20 (9.52×19.05)	×	○

(図1)



2 配管支持金具の取り付け

図2を確認のうえ、ダクト浮かし高さに応じて、表2から「TKLベース金具」、「T字足(PDB用およびPDH用)」を選定して施工してください。

表2 T字足の高さ選定表

単位:mm

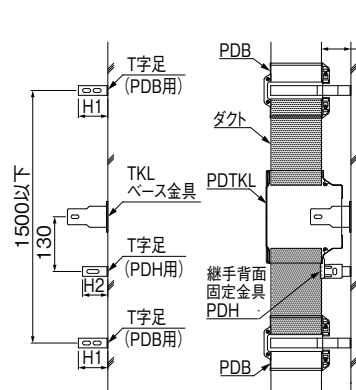
ダクト 浮かし高さ	T字足 PDB用	T字足 PDH用	適合TKL ベース金具
	H1	H2	
60	60	50	TKL-B80/B90 TKL-K80/K90
70	70	60	TKL-B90/B100 TKL-K90/K100
80	80	70	TKL-B100/K100

(図2)

① 並列施工例

支持金具の設置

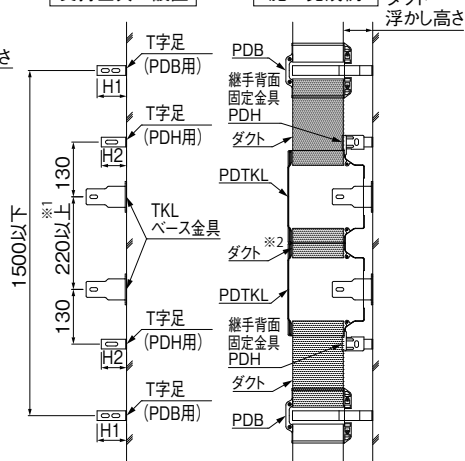
施工完成例



② 縦施工例

支持金具の設置

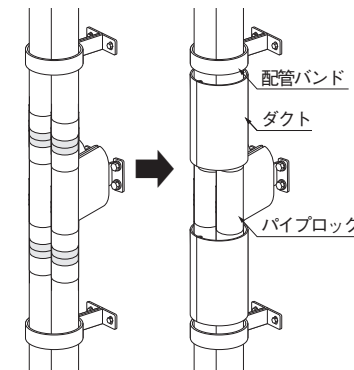
施工完成例



- ※1. TKLベース金具の縦方向ピッチは220mm以上としてください。
- ※2. PDKTLを突き合わせて施工する際、間にダクトを入れてください。

3 ダクトの切断および取り付け

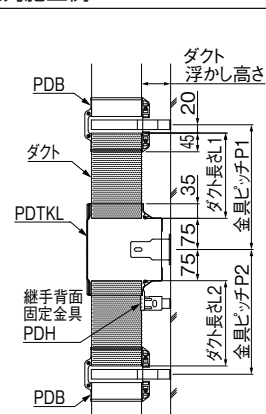
配管の設置を行い、図3を確認のうえ、金具ピッチ(P1、P2、P3)に合わせてダクトを切断して取り付けてください。



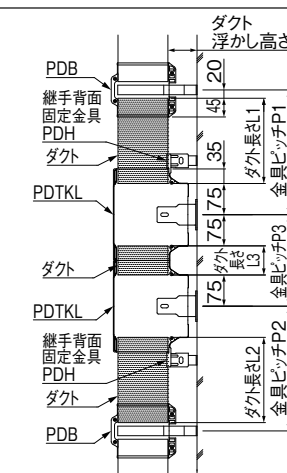
ダクト長さ(L1 or L2) = 金具ピッチ(P1 or P2) - 95mm
ダクト長さ(L3) = 金具ピッチ(P3) - 150mm

(図3)

① 並列施工例

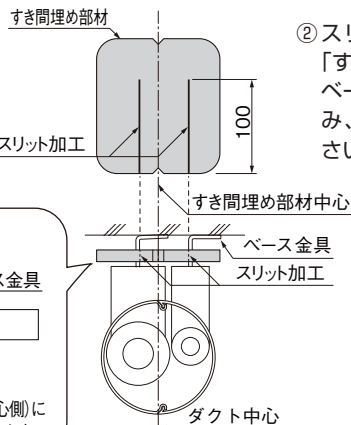


② 縦施工例



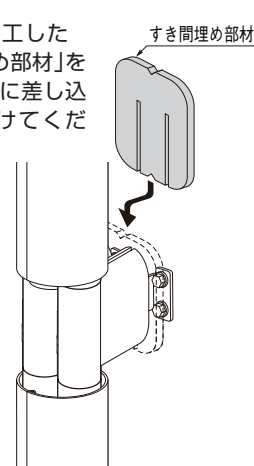
4 すき間埋め部材のスリット加工および取り付け

①「ダクト中心」と「すき間埋め部材中心」を合わせてベース金具位置(中心側)にマーキングを行い、カッターナイフなどで長さ100mmのスリット加工をしてください。



※スリット加工はベース金具の内側(ダクト中心側)に沿って施すと次の工程で差し込みやすくなります。

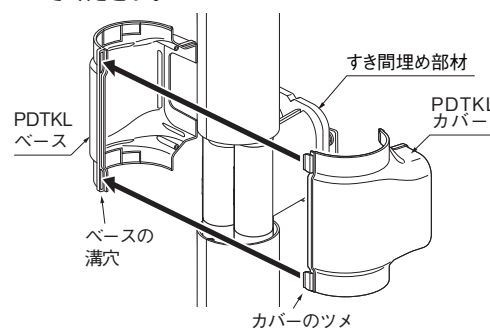
② スリット加工した「すき間埋め部材」をベース金具に差し込み、取り付けてください。



[2]

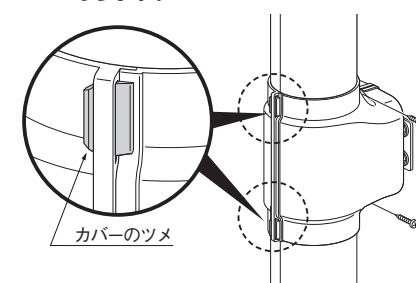
5 PDKTLの取り付け

①「すき間埋め部材」をPDKTLのカバーとベースではさみ込みながら、「ベースの溝穴」に「カバーのツメ」を差し込み取り付けてください。



②「カバーのツメ」が「ベースの溝穴」から出ていることを確認のうえ、ビスで締め付けて固定してください。

③ビスの締め過ぎに注意してください。締め過ぎると、ねじ穴がつぶれるおそれがあります。



[3]